

A U G U S T 2 0 2 0

V O L . 2 4 3

08

発行: 京都芸術センター 2020年7月20日



野村由香 「生活のためのストレッチ 共同創作」

「料理」「食事」「消化」「排 泄」をキーワードに、日々 の生活行為をリサーチす る。ワークショップを交え



ながら個人と他者・環境「繰り返される営み」撮影:高嶋清俊 との交差点で浮き出る営みの多様性を検証し、生や 自然の生態系について考察を行う予定。

Profile

野村由香(のむら・ゆか)

1994年岐阜県生まれ、京都府在住。京都市立芸術大学大学 院美術研究科彫刻専攻修了。六甲ミーツアート芸術散歩 2019入選。

神田真直 「『京の園』のための京都考」

チェーホフの『桜の園』をもとに、現在(いま)の京都に生きる人の声などをリサーチし、戯曲の制作を目指す。個人史や社会史などの丹念な文献調査をふまえ、題材への理解をもとに執筆を行う神田が、人々との対話を通して創作を試みる。



撮影:藤本匠

Profile

神田真直(かんだ・ますぐ)

大阪府生まれ。2013年より同志社大学の第三劇場に入団し、 2014年に劇団なかゆびを立ち上げ。大学卒業後も京都で劇 作家・演出家・俳優として創作活動を継続している。

川瀬亜衣 「statement: ダンサーを記録する 2020-2021」

おおやけには声を聞く機会の少ないダンサー個人の言葉や語り。それらをプロジェクトメンバーで、ステートメント・インタビュー・記録の3つの要素からなる冊子として共同制作する。ダンスの言語化に取り組み



宙宙「水になる」 2019 リサーチの様子

「分からなさ」を観察するための多様な視点を模索する。人が分かり合うことの難しさや、現代の平等と利便性のルールの中で、ダンサーと社会の取りこぼされたつながりを丁寧にたぐり寄せる。

プロジェクトメンバー募集

リサーチから実演、執筆、冊子発行までを共同制作するダンサーと記録者を募集します。 ※詳細はウェブサイトをご確認ください



Profile

川瀬亜衣(かわせ・あい)

1987年京都府生まれ。ダンサー。写真作品制作と並行し踊りはじめる。以降、京都を拠点に様々な振付家、演出家の作品に出演。近年は「書き文字を辿り踊る」シリーズにて自作の踊りに取り組む。

Co-program 2019 • 2020

カテゴリーC「共同実験」

Co-programはアーティストから事業プランを公募し、京都芸術センターと共同で実施するものです。このうちカテゴリーC「共同実験」では、アーティストの興味や課題を重視し、1年を通してリサーチやワークショップなど、実験的に取り組みます。

2019年度は宙宙、和田ながらによる企画を実施しました。2020年度は野村由香、神田真直、川瀬亜衣による実験を行います。

2019年度レポート

宙宙「水になる」

仕事の関係で水系図と出会った宙宙は、水系を描いていく中で、その美しい図に魅せられる。本プログラムでは、「水にまつわる表現」のリサーチに取り組んだ。水の流れを求めて山から海を辿り、ワークショップ(初挑戦)では他者から湧き出る表現のアイデアを取り入れ発展させながら水と向き合った。リサーチを通してエネルギーの形への探求心が深まり、「自然がわたしの根底にあると感じ、アーティストとして何を発信していきたいのかが、少し見えてきた気がします。」と今後の展望を語る。

他者と作家と作品のトライアングルが鳴りやまないプログラム。 水野慎子(アートコーディネーター

Profile

宙宙(ちゅうちゅう)

2017年に活動をスタート。鏑木麻美(かぶらぎ・あさみ)を中心とした、 人、物、場所など、作品にかかわるものの総称。清流の国ぎふ芸術 祭Art Award IN THE CUBE 2020(岐阜県美術館)出展。 WEB:https://www.chuchuworks.com/

和田ながら「わたしたちのフリーハンドなアトラス」

リサーチミーティング、公開トーク、フィールドワークなどを駆使しながら、まじめに、でも遊びながら「地図」を追求する、意欲的なプロジェクト。

昨年7月の「地上学」を提唱する石川初氏との公開トークイベントをキックオフとして始まったリサーチ。ミーティングを核としながら、センター周辺の地図を片手に身を委ねながら歩く、様々なスケール・種類の地図を片手に想像力を使いながらセンター内の空間を歩き回る、行ったことのない土地でのフィールドワークと記憶を基にしての地図作成、空想地図作家・地理人氏とのトークなど遊び心と様々な試行を繰り返し地図に着目した1年間。メンバーの個性、作成した地図や各々の地図への視座の豊かさは本プロジェクトの魅力であり、またメンバーをオーガナイズし続けた和田の手腕も際立った。

Profile

和田ながら(わだ・ながら)

演出家。2011年に自身の演劇ユニット「したため」を立ち上げ、京都を拠点に活動。美術家や写真家など、舞台芸術とは異なる領域のアーティストとも共同作業を行う。

プロジェクトもラストスパート。公開での最終報告会を計画中。 今後とも和田ながらにご注目あれ!

加藤雅俊(アートコーディネーター



リサーチミーティングの様子

EVENT CALENDAR

2020.08

略称

① ····· 日時
 ② ····· 会場
 ③ ····· 席主
 ④ ····· 出演、出展
 ③ ····· 常主
 ④ ····· 主催
 ④ ····· 財命
 ⑤ ····· 対象
 ⑤ ···· 持物

アイコン 📋 美術

※7/14時点での情報を掲載しています。開催状況はウェブサイトにてご確認ください。

手作家による展覧会。

7/11 sat. 8/30 sun.

京都芸術センター20周年記念事業 展覧会 『ニューミューテーション#3 菊池和晃・黒川岳・柳瀬安里』 自分の身体を通して世界とのコミュニケーションを試みる3人の若

●7月11日(±) -8月30日(日) ※8月14・15日休廊、入場無料 ●ギャラリー北・南、講堂 他 ●菊池和晃、黒川岳、柳瀬安里 [関連企画]パフォーマンス

菊池和晃が制作した"マシン"を稼働させるパフォーマンス。 **1**8月1日(土)、22日(土)、30日(日) ※詳細はウェブサイト・SNSでご確認 ください **9**ギャラリー北 **3**無料

8/14_{fri.} — 15_{sat.} 休館

図書室休室日:8月14日(金)、15日(土)、31日(月)

制作支援事業 (制作室使用者による公演・展覧会)

広田ゆうみ+二口大学『眠っちゃいけない子守歌』

すべてを忘れた男と訪れる女。3月に逝去した不条理劇の第一人者・別役実 の戯曲による二人芝居。

●8月7日(金)19:30、8日(±)14:00/19:00 ●シアターねこ(愛媛県松山市)
●一般2.500円、U26 1.000円 ●広田ゆうみ+二口大学 TEL: 090-

●一般2,500円、U26 1,000円 ●広田ゆうみ+二口大学 TEL:090-3039-9894(ふたくち) E-mail:hirotafutakuchi@gmail.com WEB:http://hirotafutakuchi.blog.jp

てんこもり堂 第13回公演 岸田國士短編劇『命を弄ぶ男ふたり』

偶然同じ死に場所を選んだ二人の男。死を扱いつつ、生について考える喜劇要素も入った傑作短編劇。

●8月9日(日)18:00、10日(月・祝)11:00 / 15:00 ●人間座スタジオ(左京区)●1,000円 ※要事前予約 ●てんこもり堂(きん) TEL:090-9701-9962 E-mail: tenkomoridou@yahoo.co.jp WEB: https://tenkomoridou.at.webry.info/

升田学とセレノグラフィカの新しい試み『夜のことば6』

ダンスという枠に囚われず、新しい可能性を追求する「夜のことば」シリーズ 第6弾です。

・ 8月28日(金)、29日(土)19:00 ●伊丹市立伊丹郷長館 旧岡田家住宅(兵庫県伊丹市) ●前売1,500円、当日2,000円 ※小学生以上有料。未就学児可、ただし座席が必要な場合は有料 ●チケット取扱・問合せ:伊丹郷町館 TEL:072-772-5959 WEB:http://selenographica.net

※本公演はコロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上での開催となります。詳細は上記へお問い合わせ、またはウェブサイトをご確認ください

T I C K E T [Ffyh]

第258回 市民狂言会•令和2年度年間席札

❸8月19日(水)開場18:00 開演19:00 ❷京都観世会館(左京区) ☆蝸牛、骨皮、太刀奪 母茂山忠三郎、逸平、宗彦 ほか ❸前売3,000円 ※全席指定

●チケット取扱:京都芸術センター、チケットぴあ(Pコード:502-282) ※年間席札11,000円(限定100枚)は京都芸術センターにて取扱 ●京都市

第259回 市民狂言会

●10月22日(木)開場18:00 開演19:00 ●京都観世会館(左京区) ⑩水掛智、夷毘沙門、小舞(小原木、栗焼、鮒)、六地蔵 ●茂山宗彦、茂、七五三ほか ❸前売3,000円 ●チケット取扱:京都芸術センター、チケットぴあ(Pコード:502-351) ※8月20日(木)より販売 ●京都市

OPEN CALL [募集]

ロームシアター京都×京都芸術センター"KIPPU" 2021年度参加団体募集

●公演日程:①2021年6月29日(火) - 7月4日(日)②2022年2月1日(火) - 2月6日(日) ●支援内容: 京都芸術センター制作室での制作(1-3ヶ月)、ロームシアター京都ノースホールでの上演、アートコーディネーターによる制作サポート、広報協力、批評家による批評文 ●応募方法:京都芸術センター、ロームシアター京都のウェブサイトをご覧ください ●募集期間:7月20日(月) - 9月11日(金) ●京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

笹岡由梨子・南大輔

特別企画第4弾

新型コロナウイルスが、ヒトの存在を脅かしています。そこで今回は「人間を前提としない世界や、そこにいる生き物」をテーマに、2名のアーティストに作品を依頼しました。

南大輔は、長年プーのぬいぐるみを自身の分身としてモチーフにしてきました。本作では、旬のきゅうりを収穫して食す様子が切り取られ、プーは自給自足をしてのびのび楽しく暮らしていると言います。 ぬいぐるみを通して映される生活に、私たちは何を見るのでしょうか。

笹岡由梨子はコロナ禍において、自分の身体と食べるものを拠り 所と感じ、実際に食べた魚の頭を作品に使い始めました。スーパー の魚を死骸としてではなく食材と認識するまなざしが、格差社会にお いて弱者とされる人々に対するまなざしと重なると感じたようです。

人間の存在を前提とせずに創られた両作品はむしろ、人間の社会をあぶり出しているように感じさせます。

Profi

南大輔(みなみ・だいすけ)

1980年、伏見区生まれ。編集を主体とした自主的で一途な表現など。 京都芸術センターといえば、かつて2階にあった談話室にて、ぎぼん正造とフリーペーパー「めりす」の制作をし、1階のチラシコーナーに無断で置き、次の日にはもち

ろん撤去されていたのを思い出します(遠い目)。 めりす次号は特集「就職しない生き方」、7月中に出します。入手方法は各自調べて ください。あと7/25に東岡崎(愛知県)「ひかりのラウンジ」にて謎のフリー催しに参加





笹岡由梨子《fish doll》 2020

笹岡由梨子(ささおか・ゆりこ)

京都のシェア・スタジオ「Vostok」を拠点に活動。主な個展に「Hello Holy!」(ギャラリー@KCUA、京都、2017)、主なグループ展に「Ascending Art Anual Vol.3 うたう命、うねる心」(ワコールスタディーホール京都、2019)、「ポーランド芸術祭2019 セレブレーション - 日本ポーランド現代美術展 - 」(京都芸術センター)など。Kyoto Art for Tomorrow 2019—京都府新鋭選抜展 - 最優秀賞、京都市芸術新人賞(2018)受賞。



京都芸術センターは、 2020年4月に開設20周年を迎えました!

テーマは"We Age"

(ロゴデザイン: 松本久木)

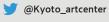


最新情報はウェブサイトでご確認ください。

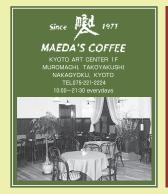
公式ウェブサイト

https://www.kac.or.jp





(O) @kyotoartcenter







交通案内

市営地下鉄烏丸線「四条」駅/阪急京都線「烏丸」駅 22番出口・24番出口より徒歩5分。

●市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

ギャラリー・図書室・

情報コーナー・チケット窓口 10:00-20:00

●カフェ(改装工事のため当面の間閉店)

●制作室、事務室 休館日 12月28日から1月4日

※設備点検のため臨時休館することがあります



〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2 TEL: 075-213-1000 FAX: 075-213-1004 E-mail: info@kac.or.ip

指定管理者:公益財団法人京都市芸術文化協会